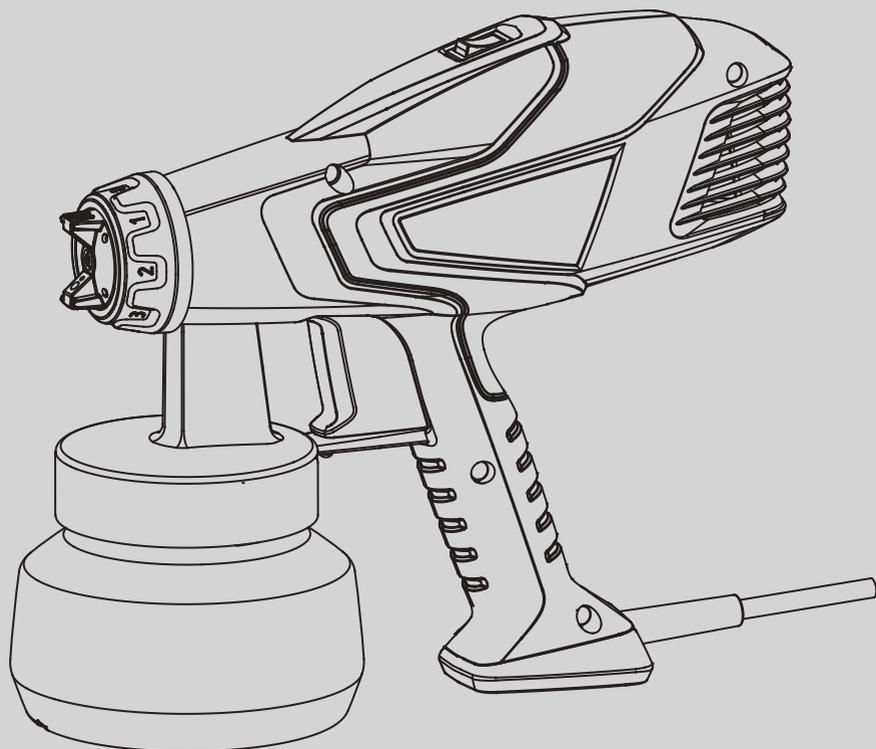


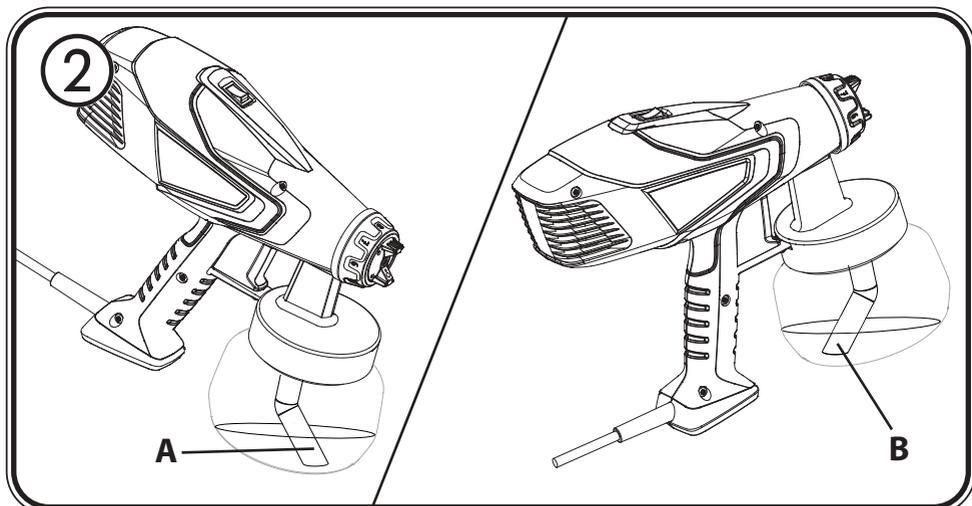
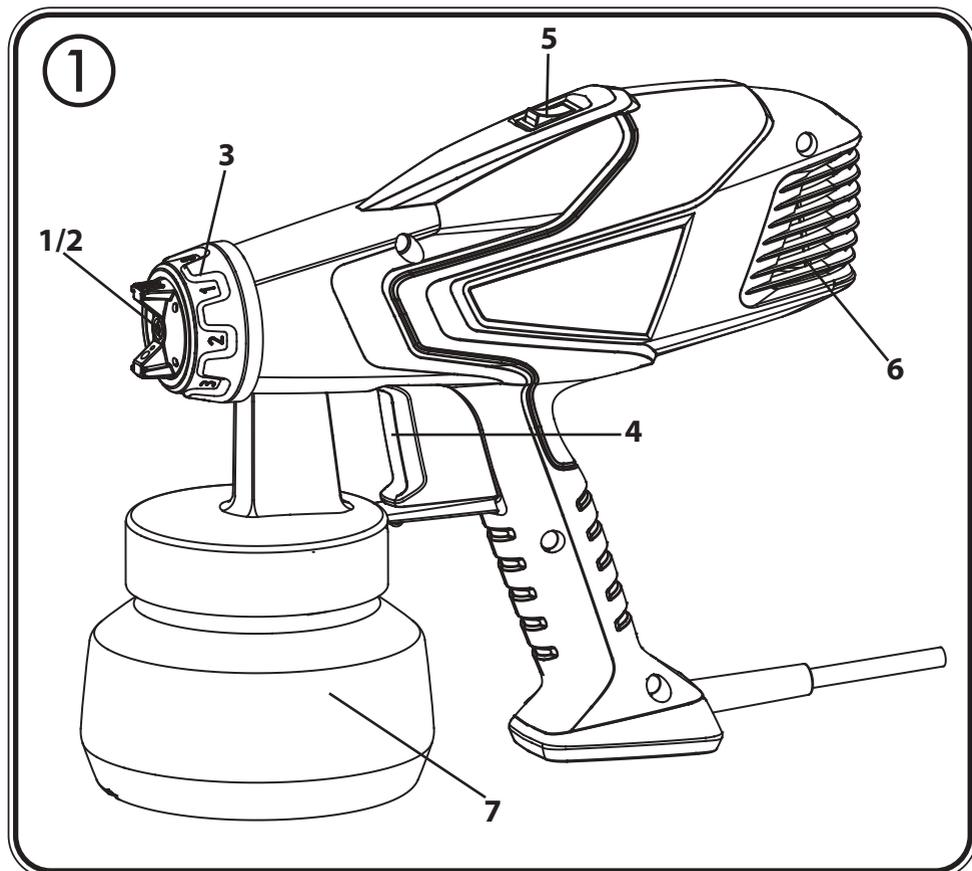
**WAGNER**

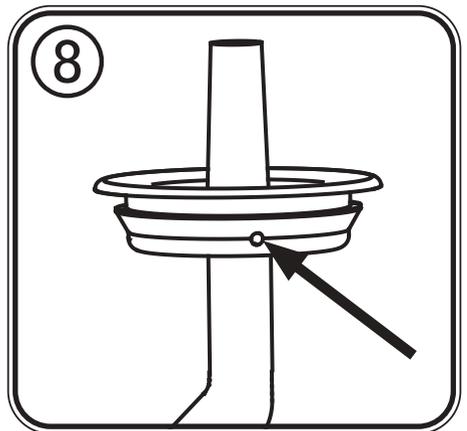
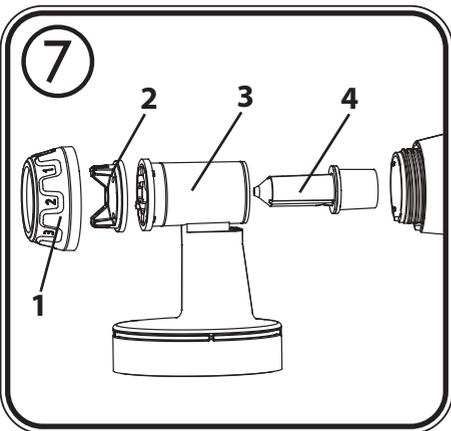
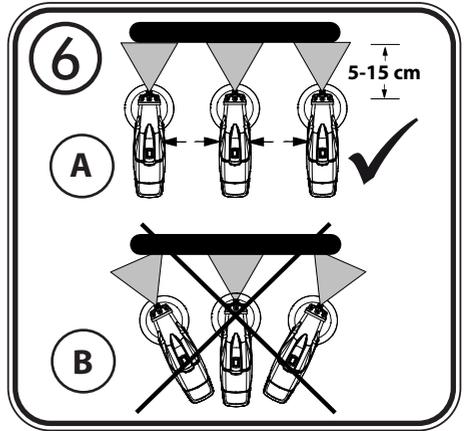
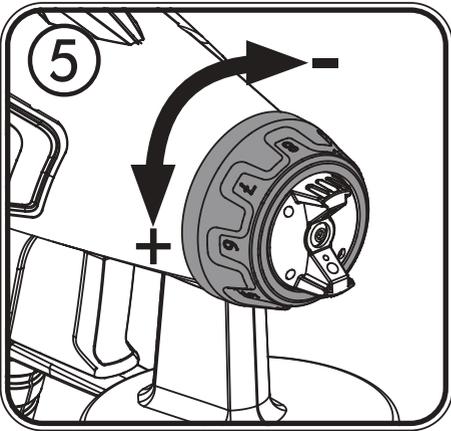
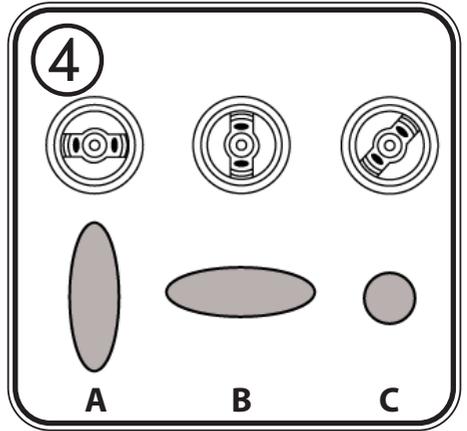
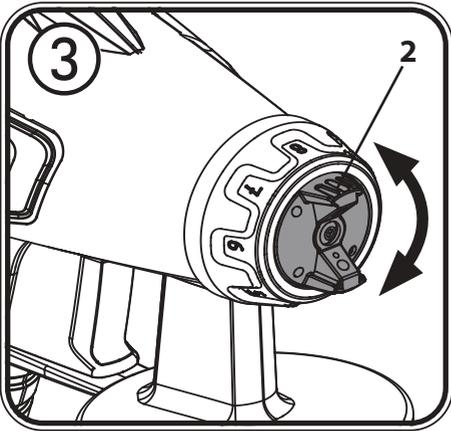


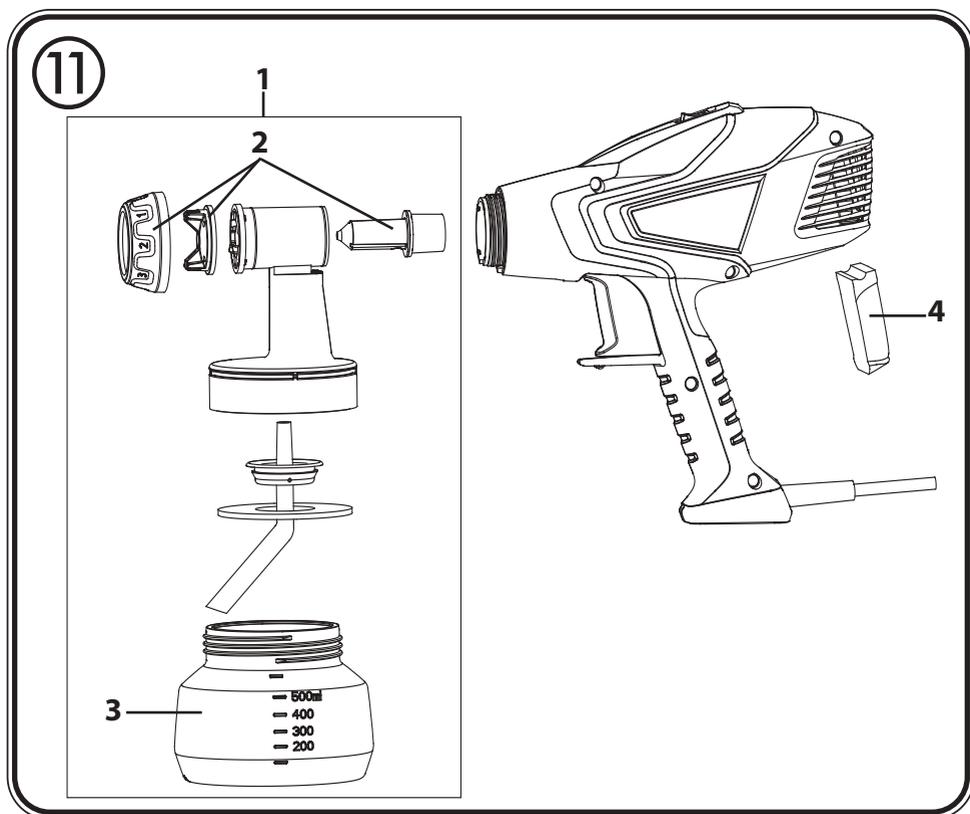
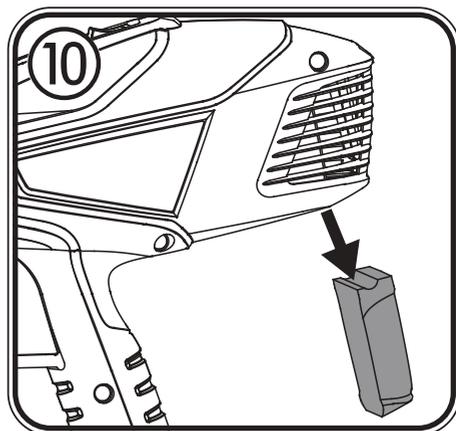
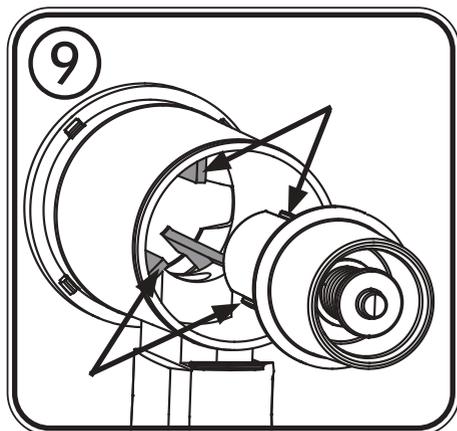
# **WOOD & METAL SPRAYER W 125**

操作説明書

JA







## 目次

1. 記号の説明 .....	1
2. 安全規定 .....	1
3. スプレーガンの使用上の注意.....	4
4. セット構成 .....	4
5. コーティング剤 .....	5
6. 使用開始 .....	5
7. スプレーパターンの調整.....	5
8. 吐出量の調整 (図 5) .....	6
9. 正しいスプレー方法 .....	6
10. 使用の停止と洗浄.....	6
11. メンテナンス.....	7
12. 交換部品 .....	7
13. トラブルシューティング .....	7
14. 技術データ .....	8
15. 廃棄に関する注意.....	8
16. 製造物責任に関する重要事項.....	8

## 1. 記号の説明

	この記号は使用者または機器に対する潜在的な危険性を示します。この記号の下には怪我や機器の損傷を防ぐために重要な情報が記載されています。
	電気ショックの恐れ
	使用上のコツや便利なヒントを示します。

## 2. 安全規定

注意! 法律で定められている規則および安全要件のすべてに従う必要があります。危険を回避するため、本操作説明書を注意深く読み、記載されている指示に従ってください。

### 1. 作業環境の安全性

- a) 作業環境は清潔に保ち、十分な照明を用意してください。整頓されていない場所、照明の不十分な場所での作業は事故につながりかねません。

- b) 本機は可燃性の液体や気体、塵のある環境で使用しないでください。本機から出た火花によって、塵や気体が引火する可能性があります。
- c) 本機の使用中は、幼児など、作業員以外の人を近づけないでください。気を取られ、操作を誤る可能性があります。

## 2. 電気の安全性

- a) 本機の電源プラグがコンセントに合っていることを確認します。適切なプラグとコンセントを使うことで、電気ショックのリスクが最小限に抑えられます。
- b) パイプやラジエーター、レンジ、冷蔵庫などの接地面に身体が触れないようにしてください。身体が接地すると電気ショックを受けるリスクが大きくなります。
- c) 本機を雨や水で濡らさないでください。本機に水が浸入すると、電気ショック・ショートのリスクが高まります。
- d) ケーブルを本機の運搬や吊り下げといった目的に使用したり、コンセントから電源プラグを抜くときに引っ張ったりしないでください。ケーブルを熱やオイル、尖った物、可動部品の近くに置かないでください。ケーブルが破損したり絡まったりすると、電気ショック・ショートのリスクが高まります。
- e) 本機を屋外で使用する場合は、必ず屋外での使用に適した延長ケーブルを使用してください。屋外での使用に適した延長ケーブルを使うことで、電気ショック・ショートのリスクが抑えられます。
- f) 本機を湿気の多い環境で使用しなければならない場合は、漏電遮断器を使用してください。漏電遮断器を使用することで、電気ショック・ショートのリスクが抑えられます。

## 3. 人体の安全

- a) 自分が行っていることに集中し、十分な注意を払って本機を扱うようにしてください。疲れているとき、またはアルコール、薬の影響下にあるときは、本機を使用しないでください。本機の使用中は一瞬の不注意が深刻な怪我につながりかねません。
- b) 個人用防護具の着用をお勧めします。防塵マスクや滑り止めの付いた安全靴、安全ゴーグルなどの個人用防護具を着用すると、怪我のリスクが抑えられます。
- c) 偶発的な作動を防止してください。電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが「オフ」(トリガーが押えられていない状態)になっていることを確認します。指をトリガーに掛けた状態で本機を運搬したり、電源につないだりすると、事故につながる可能性があります。
- d) 本機を電源につなぐ前に、作業場所から工具やスパナ等を取り除いてください。本機の近くに工具やスパナ等があると、怪我につながる可能性があります。

- e) 不自然な姿勢で作業をしないでください。不自然な体勢でいると、予期しない状況が発生した場合に本機を適切にコントロールできません。
- f) 適切な衣服を着用してください。ゆるめの衣服や垂れ下がる装飾品を着用しないでください。髪、衣服、手袋を可動部品に近づけないでください。ゆるい衣服や装飾品、長い髪は、可動部品に巻き込まれる可能性があります。
- g) 安全でないのに間違っただ大丈夫だと思い込まないでください。電動工具を何度も使用して習熟している場合でも電動工具の安全規則を無視しないでください。不注意に行動すると、一瞬で重傷につながる可能性があります。

#### 4. 電源装置の取扱いと使用

- a) 電源に過度な負荷を与えないでください。本機に適した電源を使用してください。適切な電源を使えば、指定の出力範囲で確実に、効率よく作業できます。
- b) スイッチの故障した本機は使用しないでください。スイッチを入れたり切ったりできない本機は、危険なので修理が必要です。
- c) 本機のメンテナンスや付属品の交換を行うとき、または本機をしまうときは、必ずプラグをコンセントから抜いてください。このような安全対策を取ることで、偶発的な事故が防止できます。
- d) 使用していない本機は、子どもの手の届かない場所に保管してください。本機の操作方法に詳しくない人や、操作説明書を読んでいない人には、本機を使用させないでください。
- e) 本機のメンテナンスは、丁寧に行ってください。可動部品がスムーズに作動すること、部品が破損していないこと、部品に本機の機能に影響するような損傷がないことを確認してください。損傷がある部品を修理、または交換してから、本機の使用を再開します。事故の多くは、不適切なメンテナンスに起因しています。
- f) 本機、付属品、交換部品は、その機種に規定されたものを、操作説明書に従って使用してください。その際、必要な作業と作業環境に注意を払ってください。また、規定されている以外の用途に本機を使用すると、危険な状況を招く可能性があります。
- g) グリップとグリップ面は油脂が付いていない、清潔で乾燥した状態に保ってください。グリップやグリップ面がすべりやすくと、予期しない状況で電動工具を安全に操作したり、制御したりできなくなります。

#### 5. サービス

- a) 本機の修理は、必ず資格を持った専門技術者が正規交換部品を使って行うようにしてください。そうすることで、本機の安全性が保たれます。
- b) 本機の電源ケーブルが損傷した場合は、危険を回避するため、メーカーかその

顧客サービス、または同様の資格を持つ販売店に交換を依頼してください。

### 3. スプレーガンの使用上の注意

- 本機を爆発防護の法令で規制される施設で使用しないでください。
- 作業場所に、火や、火を付けたタバコ、赤熱したワイヤー、高温の表面、研削切断による火花などの引火源がないことを確認してください。
- 危険性を把握していないコーティング剤は使用しないでください。
- 本機のメンテナンスをする場合、コンセントから電源プラグを必ず抜いてください。
- スプレーガンは可燃性材料のスプレーに使用してはなりません。
- スプレーガンは可燃性溶剤で清掃しないでください。
- スプレーされたコーティング剤から生じる危険性に配慮し、コーティング剤容器に貼られているラベルや製造メーカーによる注意事項をよく読んでください。
- **防塵マスクを着用してください。**塗料の霧や溶剤の蒸気は健康に有害です。通気性のよい部屋、または換気装置のあるところでのみ作業してください。場合によっては、皮膚を保護するため、防護服や安全ゴーグル、手袋、皮膚保護クリームが必要です。



**危険：怪我の危険性があります！**

スプレーガンを自分や他の人、動物に絶対に向けないでください。



スプレーされたコーティング剤がコンセント内に入らないように、作業場所から十分に離れたところで電源を取ってください。スプレーされたコーティング剤がコンセント内に入ると電気ショックの恐れが高まります。

- 屋内や屋外で塗装機を使用する場合、溶剤の蒸気がスプレーガンの方向に流れていかないよう、また、スプレーガンの周辺で溶剤を含む蒸気が発生しないよう、注意してください。
- 作業時には例えば風によって塗料の霧がより長い距離運ばれ、それによって損傷が引き起こされる可能性があることに注意してください。室内で作業する場合は、十分な換気を確保する必要があります。
- 本機はおもちゃではありません。子供の手の届かない場所で保管し、勝手に使用させないでください。
- 電気部分の修理を行うために、機器を自分で開けることは絶対にしないでください！

**WAGNERの正規付属品および交換部品のみ使用してください。正規付属品および交換部品以外のパーツの使用、また取り付けが不適切であった場合、保証対象外になります。**

### 4. セット構成

セット構成 (図 1)

1) エアーキャップ	2) ノズル
3) 吐出量調整ユニオンナット	4) トリガー
5) オン/オフスイッチ	6) エアーフィルター
7) コンテナ	

## 5. コーティング剤

### 使用できるコーティング剤

ワニス、木材保護剤	希釈せず
水性の仕上げ塗料、プライマー	5 - 10 % 希釈

### 使用できないコーティング剤

壁用ペイント、溶解度の強い塗料 (= 強溶剤系塗料)、強い研磨成分を含んだ塗料、漆喰、砂状塗料、苛性ソーダ、可燃性塗料、二液型塗料で可使時間の短いもの塗料、ワニスは希釈せず、またはわずかに希釈するだけでスプレーできます。

1. 塗料をかき混ぜ、必要量を塗料容器に入れます。
2. 供給量が少なすぎる場合は、供給量が要件に合致するまで、段階的に5 - 10 % 希釈します。

## 6. 使用開始

電源に接続する前に、電圧が銘板に記載されている使用電圧と一致していることを確認してください。

- スプレーガンからコンテナを外します。
- サクションチューブの位置を調整します。(図2)  
サクションチューブが正しい位置にあれば、効率よくコーティング剤を使用することができます。  
床と水平に置いた被塗物を塗装する場合：  
サクションチューブを前に回します。(図2A)  
頭上の被塗物を塗装する場合： サクションチューブを後ろに回します。(図2B)
- コンテナを紙(新聞紙、段ボールなど)の上に置き、準備したコーティング剤を充填します。
- 充填が終了したら、コンテナをしっかりとスプレーガンに取り付けます。

## 7. スプレーパターンの調整



**警告!ケガの恐れ!** エアーキャップを調整している間は、絶対にトリガーを引かないでください。

エアーキャップ(図3の2)を希望のスプレー模様位置まで回します(矢印)。

- 図 4 A = 垂直スプレー → 横長の塗装面に  
 図 4 B = 水平スプレー → 縦長の塗装面に  
 図 4 C = 丸スプレー → コーナー部、角部に

## 8. 吐出量の調整 (図 5)

ユニオンナットを回して、塗料の量を1から8の間に設定します。

## 9. 正しいスプレー方法

- コーティング結果は塗装面の滑らかさや清潔さに大きく左右されます。そのため、スプレーを開始する前に塗装面を清潔にし、十分に準備することが大切です。
- 塗装しない場所はしっかりとマスキングしてください。
- 段ボールまたは同様の表面でスプレーのテストを実行し、スプレーガンの適切な設定を見つけ出すことが役に立ちます。  
**重要:** 被塗物に当たらない場所からスプレーを開始します。また、被塗物へのスプレー中に中断しないようにしてください。
- **図 6 A 正しいスプレー方法:** 被塗物までの距離が一定です。
- **図 6 B 間違ったスプレー方法:** 被塗物までの距離が一定でないと、塗装面にムラが生じます

## 10. 使用の停止と洗浄

スプレー装置の快適な使用のために、適切な洗浄は欠かせません。不適切な洗浄によって生じた本機の不具合は、保証対象外になりますのでご注意ください。



スプレーガンのタービン部は、水や洗浄剤に浸さないでください。湿った布で汚れやほこりをふき取ってください。

- 1) 本機の電源を切り、電源プラグを抜きます。
- 2) コンテナを外します。残ったコーティング剤は元の容器に戻し、コンテナを空にします。
- 3) サクションチューブと容器のシールを引き抜きます。
- 4) ロックからユニオンナット (図7の1) をレベル1に回し、取り外します。エアーキャップ (2) を取り外し、ガンの前部分 (3) を引き抜きます。後ろのノズル (4) をガンの前部分から引き抜きます。

**警告!** スプレーガンは決してとがった金属製の物で清掃しないでください。

- 5) すべての部品をブラシと水、または溶剤 (処理する塗料により異なる) を使って丁寧に清掃します。ベント穴 (図8) が空いているよう特に注意してください。

### 組立

- 1) ノズル (図9) のスリットがガン本体の3本のガイドレールにはめ込むよう、ノズルをガン本体に装着します。
- 2) エアーキャップをノズルに被せてジョイントナットを締めます。
- 3) コンテナシールをサクションチューブの下から取付けます。コンテナシールがサクションチューブのカラー (窪み) にしっかり入っているか、コンテナシールを軽く回して確認します。

- 4) コンテナシーลを取り付けたサクシオンチューブを、スプレーガン本体にはめ込みます。

## 11. メンテナンス



**警告!** エアーフィルターなしで本機を作動させないでください。飛散したコーティング剤のゴミ、ほこりなどが吸い込まれ、エアー量の減少やモーターの故障の原因になります。部品を交換する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ガンからエアーフィルターを取り出して清掃するか、新しいエアーフィルターを使用します (図10)。

## 12. 交換部品

交換部品リスト W 125 (図 11)

項目	名称	注文番号
1	ガン前部分と容器600 ml	2414440
2	ユニオンナット、エアーキャップ、ノズルのセット	2414442
3	コンテナ(蓋付)	2370528
4	エアーフィルター	2414439

## 13. トラブルシューティング

トラブル	考えられる原因	解決策
ノズルからコーティング剤が出てこない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ノズルが詰まっている</li> <li>● サクシオンチューブが詰まっている</li> <li>● 塗料の量が少なすぎる</li> <li>● コンテナ内に圧力がかかっていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 分解洗浄</li> <li>● 分解洗浄</li> <li>● 塗料の量を増やす</li> <li>● コンテナをしっかりと締めつける</li> </ul>
ノズルからコーティング剤が垂れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ノズルが磨耗している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交換</li> </ul>
霧化が粗い/スプレーがとぎれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コーティング剤の粘度が高すぎる</li> <li>● 塗料の量が多すぎる</li> <li>● ノズルが汚れている</li> <li>● エアーフィルターの汚れがひどい</li> <li>● コンテナ内の圧力が低すぎる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 薄める</li> <li>● 塗料の量を減らす</li> <li>● 分解洗浄</li> <li>● 交換</li> <li>● コンテナをしっかりと締めつける</li> </ul>

トラブル	考えられる原因	解決策
塗料飛散が多い	<ul style="list-style-type: none"> <li>●被塗物との距離が長すぎる</li> <li>●塗料の量が多すぎる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●吹き付け距離を短くする</li> <li>●塗料の量を減らす</li> </ul>

## 14. 技術データ

技術データ	
電源:	100 V, 50/60 Hz
消費電力:	240 W
エア圧力:	70 hPa
最大吐出量:	0~150 ml/min
感電保護クラス:	I
騒音レベル:	77 dB (A)
重量:	1,2 kg

## 15. 廃棄に関する注意



本機の廃棄、およびコーティング剤、洗浄剤の廃棄に関しては、国・地方自治体の消防・電気・安全関連の法規定、および各メーカーの指示に従ってください。

## 16. 製造物責任に関する重要事項

1990年1月1日に発効したEU規制に従い、メーカーは、すべての部品がメーカー製であるか、メーカーによって認可されたものであり、機器の組立と操作が正しく行われた場合のみ、製造物に対し責任を負います。他社製の付属品および交換部品を使用した場合、製造物責任の一部または全部が無効になります。極端なケースでは、管轄当局（同業組合および営業監督庁）によって機器全体の使用が禁止されることもあります。

WAGNER 製の付属品および交換部品を使用しないと、安全規定を満たすことができません。

### 保証規定

日本ワグナー・スプレーテック株式会社（以下「日本ワグナー」）は、本製品の材質上および製造上の欠陥により、正常な使用状態および使用後の完全な洗浄状態にもかかわらず、故障が生じた場合は、以下の保証規定に従い保証いたします。

1. 保証書に記載している保証期間内に、お客様に次の手続きをとっていただくことを条件として、無償で故障品を修理いたします。

(1) お買い上げの販売店に、お買い上げを証明する書面（レシート、納品書等）と保証書を提示すること

(2) 故障品を販売店が指定する宛先に返送すること

2. 本保証は、日本ワグナーが不具合の原因が次の場合であると判断したときには適用されませんのでご了承ください。

- (1) 取扱説明書に記載の使用方法、注意事項に従わない使用がなされた場合
- (2) 日本ワグナーまたは日本ワグナーが認めたサービス代理店以外の第三者により不当な修理、調整、改造がなされた場合
- (3) 消耗部品の摩耗による故障、および消耗部品の交換
- (4) 不十分な洗浄およびメンテナンスによる故障、損傷
- (5) お客様による輸送、移動時の落下、転倒、衝撃等による故障、損傷
- (6) 地震、火災、落雷、洪水等の自然災害、その他の外部要因によって生じた故障、損傷

### 保証書

<b>WAGNER</b>		保証期間：お買い上げ日より1年間	
製品名：		W 125	お買い上げ日：
お客様	(フリガナ)		
	お名前		
	ご住所 〒		
電話			
販売店	店名・住所・電話		
	®		
※販売店の印鑑がない場合は、購入レシートもしくは納品書を貼り付けてください。			

日本ワグナー・スプレーテック株式会社

〒574-0057

大阪府大東市 新田西町2-35

TEL: 072-874-3561

FAX: 072-874-3426

電子メール: [marketing-jp@wagner-group.com](mailto:marketing-jp@wagner-group.com)

本説明書に記載された外観・仕様は、改善のため予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。

Part. No. 2444902 A

02/2023\_RS

© Copyright by J.Wagner GmbH